

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月3日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|---------|-----------|
| 事業所番号 | 0972600050 | | |
| 法人名 | 社会福私法人 光誠会 | | |
| 事業所名 | ケアハウスフローラ(グループホーム フローラ) | | |
| 所在地 | 栃木県塩谷郡高根沢町上柏崎551-1 (電話)028-676-3300 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 アスク | | |
| 所在地 | 栃木県那須塩原市松浦町118-189 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年1月16日 | 評価結果確定日 | 平成20年3月3日 |

【情報提供票より】(平成19年12月10日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-------------|----------------------|----|
| 開設年月日 | 平成11年12月20日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9人 |
| 職員数 | 9人 | 常勤6人、非常勤3人、常勤換算6.75人 | |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------------|--|--|
| 建物構造 | 鉄骨造り | | |
| | 2階建て(1、2階使用) | | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|-----------------|-----------------|------------|---------|---|
| 家賃(平均月額) | 15,000円 | その他の経費(月額) | 29,400円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(300,000円) | 有りの場合償却の有無 | 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,500円 | | | |

(4) 利用者の概要(平成19年12月20日)

| | | | | | | |
|-------|------|------|----|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 9名 | 男性 | 0名 | 女性 | 9名 | |
| 要介護1 | 5名 | 要介護2 | 1名 | | | |
| 要介護3 | 1名 | 要介護4 | 2名 | | | |
| 要介護5 | 要支援2 | | | | | |
| 年齢 | 平均 | 82歳 | 最低 | 66歳 | 最高 | 93歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------|
| 協力医療機関名 | 高根沢中央病院・加藤歯科医院 |
|---------|----------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人設立1年後の平成11年12月に開設し『ゆっくり楽しく温もりのある生活を送る』を理念として「職員は笑顔を絶やさず、利用者からも笑顔が出るケア」を実践しており、ホームには穏やかな時が流れている。新たに『地域との結びつきを大切に、信頼関係を保ちながら地域の一人として生活すること』を理念に加え、地域との関係を深めようと努力している。隣接しているケアハウスやデイサービスの利用者とは、菜園・押し花・書道・演歌・童謡など各クラブ活動や合同行事のときに交流があり楽しみとなっている。職員は「今」を生活している認知症利用者一人ひとりの尊厳を大切に言葉づかいを心がけている。また職員は利用者に対等な関係を意識してケアをするようにしており、共に生活している人としての温もりも感じられる。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回指摘された課題は、職員間で話し合い、結論が出たものを改善している。「家庭的な食器の使用」については、樹脂製の食器の方が利用者にとって運びやすいという利点があるため、あえて変更しないという結論に達している。利用者にとってどうかといった視点で十分話し合われた結果であり、変更しない理由が明確であった。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価は全職員で取り組めていないので、全職員が自己評価に参加できる工夫が求められる。外部評価の結果から導き出された課題については、ミーティングで改善に向けて話し合い、ホーム全体で取り組む姿勢が見られた。今後とも利用者本位を忘れず更なる改善に取り組まれることを期待したい。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | 運営推進会議では、運営状況などを報告する他、外部評価の結果や改善項目などについても報告している。意見を求めると、家族からは意見が苦情のようになってしまうので躊躇してしまうとの意見などが出されている。運営推進会議には、地元との橋渡しも期待するが、実際の活動に結びつくまでには至っていない。ホームからのお知らせを直接届けて、市町村の担当者を訪ねる機会をつくっている。地域密着型サービス事業者として地域との関係の作り方など悩んだときアドバイスをもらうなど、市町村の担当者とは何でも相談できる関係となっている。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 毎月、個人別の手紙、金銭出納明細書、ホーム新聞、希望する家族には個人の記録のコピーを送っている。家族への利用者からのメッセージ欄には本人自筆の言葉が書かれている。また家族の面会時に近況報告などを行っている。重要事項説明書に外部の苦情相談窓口を明記し意見箱も設置しているが、今まで運営に対する家族からの苦情はない。面会時に家族に意見や要望など尋ねるようにしているが、「現状で不満はないので要望はない」といわれる。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 自治会に加入し地域の情報も入るようになっている。ふるさと祭り、小学校の運動会への招待、伝統行事「ぼうじぼ」で地域の子供たちがホームを訪れるなど地域との関係はあるが、周辺に人家が少なく地域の人が訪ねてくることは希で日常的な交流とまではなっていない。今後地域の清掃活動など様々な活動を通して、地元の人と交流する機会が増えることを期待する。隣接するケアハウスでボランティアの協力で開催される書道、押し花教室に参加することでホーム外の人と交流を持っている。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------|--|
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「ゆっくり楽しく一緒にぬくもりのある生活を送る」と表していた理念に、「地域との結びつきを大切に、信頼関係を保ちながら、地域の一員として生活すること」を新たに加え、地域密着型サービスを行う事業所の理念として明文化した。このことで、管理者も職員も地域との関係性を深めようとする努力がうかがえた。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者も職員も理念の実践により「笑顔がたえない」施設となるように心がけている。管理者は、地域との結びつきを大切にした運営を意識して行うことを職員に伝え、職員はそのことをミーティングの中で話し合っている。地域の老人会の行っているゲートボールに参加するなど地域に出かけ、地域との結びつきを作るきっかけとしている。 | | 地域密着型サービスと位置づけられたことを理念で明確にし、管理者も職員も地域との関係を深めようと様々な取り組みを試みている。今後もその姿勢を続けることで、地域の一員として支え合える関係を構築することを期待したい。 |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会に加入し地域の情報も入るようになってきている。地域のふるさと祭り、小学校の運動会への招待、伝統行事「ぼうじぼ」で地域の子供たちがホームを訪れるなど地域との関係はあるが、日常的な交流とまではなっていない。周辺に人家が少ないこともあり、地域の人が訪ねてくることは希であるが、同一敷地内のケアハウスでボランティアの協力で開催される書道や押し花教室に参加することでホーム外の人と交流を持っている。 | | 地域の催し物への招待から、ゲートボールに参加するなど地域との交流も徐々に広がっているが、まだ地域の一員として地域活動に参加するまでには至っていない。そこで、地域の清掃活動にも積極的に参加したいとしている。様々な活動を通して、地元の人と交流する機会が増えることを期待したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 前回の評価で指摘された改善点は、職員間で話し合い、結論が出たものは改善している。樹脂製の食器をなるべく家庭で使っているようなものに替えるよう求めた改善点は、利用者が運びやすいものなので、ただ変更するだけでなく、十分に話し合い、あえて変更しないという結論を出している。この結論は、利用者にとってどうかといった視点で話し合われていて、変更しない理由が明確であった。自己評価は職員全員での取り組みとなっていない。 | | 外部評価の結果から導き出された課題については、ミーティングで改善に向けて話し合い、ホーム全体で取り組む姿勢が見られた。今後とも利用者本位を忘れず更なる改善に取り組むことを期待したい。また、今回、自己評価は全職員で取り組めていないので、全職員が自己評価に参加できる工夫が求められる。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|--|---------------------|---|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議では、運営状況などを報告する他、外部評価の結果や改善項目などについても報告している。運営推進会議で意見を求めるが、家族からは意見が苦情と取られはしないかとの懸念があり躊躇してしまうという意見などが出されている。運営推進会議には、地元との橋渡しなども期待するが、実際の活動に結びつくまでには至っていない。</p> | | <p>運営推進会議の場でより多くの意見を出してもらえるように工夫したいとのことであるが、特に家族からは意見が苦情のようになり躊躇してしまうとのことなので、最初はホームの具体的課題に関して一緒に考えてほしいと提案するなど意見の求め方に工夫をしてはいるかが。</p> |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>ホームからのお知らせを直接届けるなどで、市町村の担当者を訪問する機会をつくっている。地域密着型サービス事業者として地域との関係の作り方など悩んだときアドバイスをもらうなど、市町村の担当者とは何でも相談できる関係となっている。</p> | | <p>今後、市町村の担当者との良好な関係を活かし、サービスを実施する上での課題に限らず、制度上の問題点なども含めて、現場で明らかになった課題を出し合い、市町村と連携してサービスの質の向上に取り組むことを期待したい。</p> |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>毎月、個人別のお手紙、金銭出納の明細書、ホーム新聞など、希望する家族には個人の記録のコピーも送付している。個人別のお手紙には、ホームでの利用者の生活の様子、来月の行事、健康の記録、通院状況が記載されている他に、利用者からのメッセージの欄には家族へ本人の自筆の言葉が書かれている。更に家族の面会時に近況報告などを行っている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>重要事項説明書に外部の苦情相談窓口を明記し意見箱も設置しているが、今まで運営に対する家族からの苦情はない。面会時に家族に意見や要望など尋ねるようにしているが、「現状で不満はないので要望はない」といわれる。また、意見も苦情と捉えているのか、実際意見がないのか、出される意見や要望はほとんどない。</p> | | <p>事業所としては、「苦情は宝」の視点で家族が言いやすい状況作りを検討している。また、意見を求める場合などの声かけの仕方に工夫をしてみたことなので実行されることを期待したい。</p> |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>昨年、管理者が町内にある同法人の施設に異動になった。その際、転勤であることを利用者きちんと説明している。また、異動した職員が時々ホームを訪ねている。更に、転勤先の特別養護老人ホームに併設されている地域包括支援センターが開催する地域交流会に利用者が出向いた時に会えることもあり、職員の異動による利用者へのダメージはほとんどなかった。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 同法人の内部研修は、年間計画として立ててあり、毎月実施されている。常勤・非常勤の区別なく全員が研修を受けることができるようになってきている。また、職員研修は、個人面接を行い立てられた個人別育成計画に基づいて、法人内外の研修に参加するようになってきている。 | | 個人別育成計画を立ててはいるが、「実際にうまく使いこなせていない」と自ら課題と捉えているので、今後立てた計画の実施管理をすることが求められる。 |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協会主催の研修会等には内容によって管理者が参加したり職員が参加するようになっている。グループホーム連絡会への参加は、ホーム同士の交流を行い、課題を共有することで、サービスの質の向上の取り組みを探ることができる。参加する職員にとってはケアの悩みを共有できサービスの改善の参考になっている。 | | 今後、更に2、3のグループホームとの交流を深めたいとの希望があるので、ぜひ交流を深め、連携してサービスの質の向上に取り組んでほしい。 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 昨年からの空き部屋を利用して短期入所サービスを実施している。デイサービスの利用者がお茶を飲みに来て雰囲気を知ってもらい、短期入所サービスを利用して慣れた上で入居に至っている事例がある。また、同一敷地にあるケアハウスから馴染みの関係があつての入居などがある。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 入居者は夜勤の職員にいたわりの声をかけてくれる。このことを職員は、利用者の優しさを受け止めている。入居まもない利用者の不安に対して職員は横に座って話しにつきあうなど心遣いがある。利用者が繕い物をしてくれたり、職員と一緒に配膳や食器の片付けを行うなど共に生活している関係となっている。職員は対等な関係を意識してケアをするようにしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|---|---|---------------------|---|
| <p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1.一人ひとりの把握</p> | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>利用者それぞれの思いを日常的なかかわりの中から推し量っている。編み物を得意とする人が娘さんの誕生日プレゼントにマフラーを編むなど、利用者の思いを形にした事例もある。</p> | | <p>本人からの希望の表出が少ないが、今後も様々な機会を捉えて、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めてほしい。理念にもある「のんびりした生活」を支えたいとの職員の心構えは今後も大切にしてほしい。</p> |
| <p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p> | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>月末の全体ミーティングの中に組み込まれているサービス担当者会議に、職員が意見を持ち寄って介護方針を決める。ケアマネジャーが面会時に家族の意見を聞くようにしているが要望は少ない。職員は、生活の中で目にした細かいことも計画作成の参考になると考えて、具体的な情報をケアマネジャーに伝えるようにしている。</p> | | <p>利用者の思いや家族の意見を反映した計画を作成したいと思っているが、利用者や家族の参加が少ない。このことを課題と捉えているので、家族への意見の求め方を工夫して、利用者本位の介護計画となっているか再検討することが大切である。</p> |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>介護計画は基本的に6ヶ月毎に見直しているが、状況が変化したときには適宜変更している。月1回開催される全体ミーティングの中で、サービス担当者会議を行うように位置づけられている。その記録はミーティング会議記録の中に項目が記載され、内容はサービス担当者会議の記録として個別に作成されている。</p> | | <p>職員はサービス担当者会議で意見を述べるようになっているが、ケアマネジャーが日々の介護に携わっている時間があるので利用者の状態、利用者の思いを直接くみ取ることが多い。しかし、家族からの意見の聴取が弱いので工夫が求められる。</p> |
| <p>3.多機能性を活かした柔軟な支援</p> | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>通院の要望に対して、同法人の介護輸送サービスを利用することで応えることができる。また、短期利用共同生活介護事業の指定を受けたので、空き部屋を利用して入居前にショートステイを体験してから入所することができる。</p> | | |

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----------|---|--|-------------------------|---|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>ホームの協力医療機関のほかに入居前のかかりつけ医を受診できるように、本人・家族と相談して支援している。家族が対応できない場合に限り、併設同法人の介護輸送サービスを利用してホームの職員が通院介助を行っている。受診結果の家族とのやり取りは口答である。今後、訪問看護の利用を検討中である。</p> | ○ | <p>通院時かかりつけ医にはホームでの様子を、家族へは受診結果を正確に報告することが大切となる。そこで、例えば独自の書式を作るなどして、正確な情報のやり取りができる工夫が望まれる。また、訪問看護を検討していることから、ホームで医療処置を受けることができれば、利用者の負担となる入院や受診の回避などが期待できる。</p> |
| 19 | 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>重度化した場合や終末期の人の利用は対象としないとのことであるが、現在入居している利用者が安心してサービスを利用できるように職員は日常の健康管理、急変時に対応できるように話し合っている。馴染みの職員が転勤異動した同法人運営の特別養護老人ホームが同町内にあることが、利用者・家族の安心へ繋がっていることもある。</p> | ○ | <p>重要事項説明書の「看取りに関する指針」は、「ホームでの看取りは、利用者・家族が希望された場合について医師が可能と判断し、家族の協力が得られれば行う」としているが、現段階では終末期の看取りには対応していないので、早急に実態に即した記載事項の修正が望まれる。ただし、重度化した場合など必要に応じてかかりつけ医との話し合いの場を持つことは早い時期から行われることが望まれる。</p> |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>職員が一人ひとりにかける言葉掛けは、「今」を生活している認知症の利用者の尊厳を大切にしている、共に生活をしている人としての温もりが感じられた。記録類は利用者のいる所では記入しないようにしており、鍵のかかる場所に保管している。</p> | | |
| 21 | 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>起床が遅かったり、夜もテレビを見ていたり様々な場面で、本人の希望・状態・ペースを重視し、本人が動きたい時間まで待っている。必要に応じて行動を促すこともある。</p> | | <p>「今日は、〇〇をしたい。」といった利用者の数少ない要望を聞き入れながら、日常ののんびりした生活を続けることを支援してほしい。</p> |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事は、併設ケアハウスの調理場から運ばれたものを利用者が職員と一緒に盛りつける。本人の力を最大限に引き出せるようその場で役割分担をして、職員と一緒に配膳、片付けをしている。月に2回、昼食で利用者の好みや食べたい料理を取り入れたホームのオリジナルメニューをつくり、みなで調理して、食べている。利用者の相性に配慮して、食事を楽しくいただけるよう座席の工夫をしている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 午前・午後と入浴できるが、現在は午後の希望は少なく、夜間入浴の希望は無い。その季節季節でゆず湯や菖蒲湯、ウコンの葉、ミントの葉を干して浴槽に入れたり、すぐ近くの『元気あつぷ村』の温泉スタンドから購入した温泉を湯船に入れて、入浴を楽しめる工夫をしている。身体の状態でシャワー浴が多かった利用者の「浴槽に浸かりたい」の言葉から、隣接デイサービスの機械浴を利用して希望をかなえている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の生活歴の細かい部分の把握は充分といえないが、食事の準備・配膳・来客へのお茶出し・掃き掃除・掃除機かけ・野菜作りなど、関わりの中で、現在本人の持っている力を発揮している。隣接ケアハウスの押し花・菜園・書道・演歌などのクラブ活動で楽しんでいる利用者もいる。また月1回の外出ツアーでは、季節のお花見(桜・紫陽花・紅葉・コスモス)や動物園などへ出かけるほか外食や買い物も楽しんでいる。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散歩や買い物など利用者が行きたいという希望に合わせて支援している。一人で外に行こうとする利用者には職員がさりげなく付き添っていく姿がみられた。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は鍵をかけず、居間に職員が1人は必ずいるようにしている。18時以降は職員が1人になるので防犯上施錠している。昼食後、玄関から1人で外に行こうとする利用者から離れた場所で見守っていた職員が気づき、さりげなく付き添っている姿がみられた。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|--|--|---------------------|--|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 同一敷地内にあるケアハウスと合同の消防避難訓練を、運営推進会議で地域の方にも呼びかけて、年2回夜間想定で行っている。昨年ケアハウスで真夜中にタバコの不始末から火災があったことを教訓に自衛消防団を作り、夜勤者の再教育 火の元の厳重な確認 蛸足配線、不用ダンボール箱、コンセントの汚れ、コードの劣化などの再チェックを行った。現在、喫煙者は入所できないこととしている。 | ○ | 隣の火災の時には地域の方々もかけ付けての協力があつた。今後も自衛消防団が率先して消防署、警察署の協力を得て、自治会、地域住民との連携を深め、いざという時のために訓練を重ねることを期待する。また災害が長期化した場合の受入先の確保、災害用物資等の確認もしておくことが望まれる。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 1日の栄養・水分摂取を確保できるよう、食事チェック表、水分チェック表を作成し1日の摂取量を把握している。風呂上りの水分確保に、利用者が職員からの声かけでお茶を飲んでいる姿がみられた。毎日、利用者の声と担当者の意見などを記入した「検食簿」を厨房へ提出しており、ケアハウス給食委員会や管理栄養士によるメニュー作り、残渣チェックなどへ反映されている。 | | |
| 2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室の入り口を利用者自作の押し花で飾ったり、植物や花の絵で入り口がわかるようにしてある。書道・押し花クラブの作品や皆で作成した干支の壁かけなど、手作りの飾りが多く和ませられる。廊下のベンチに座ったり、炬燵でテレビを見たり利用者の昼間の居場所となっている。居室は2階のためプライベートは確保され易い反面、目が行き届かないので廊下の両端にカメラを設置している。カメラがむき出しでは威圧的であるので造花を飾りカモフラージュしている。自力で歩行できる利用者が2階の居室を利用しており、慎重に昇り降りしていることが、適度な緊張と運動となっている。 | | 前回の外部評価の際提案した一段高い炬燵スペースの昇り降りの手すり設置と、剥き出しのカメラを造花の飾りでカモフラージュすることなど、工夫が見られた。 |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 時間をかけて本人、家族と相談しながら使い慣れたもの（タンス、仏壇、時計、写真など）や好みのものを持ち込み、その人らしい部屋となっている。また書道の得意な方は居室に作品を飾るなど職員と一緒に部屋のデザインを考えている様子が見えがえた。 | | |

 は、重点項目。